

1.大会趣旨

本大会は、八千代町、常総市、下妻市または近隣市町村に在住し、学童野球を愛する小学生を対象に行います。

この年代の子供たちは、人生において技術や知識を最も吸収する時期でもあり、様々な体験によって、精神的にも体力的にも大きく飛躍する可能性を秘めています。その可能性を見出し、発揮させてやることが我々大人の役割ではないかと考えています。

本大会を開催するにあたり、子供たちが仲間と喜びや悔しさを共に経験し絆を深め、対戦相手に対して敬意を表せる「スポーツマンシップ」を持ち、試合会場内外でのマナーを重視することにより、人間性を向上し、将来、この地域を作り上げてゆく人財を育みます。

2.大会要綱

主催	一般社団法人下妻青年会議所
後援	八千代町・常総市・下妻市 八千代町・常総市・下妻市各教育委員会 八千代町・常総市・下妻市選出県議会議員 八千代町軟式野球連盟 常総市軟式野球連盟 下妻市軟式野球連盟 茨城八千代ライオンズクラブ 水海道ライオンズクラブ 石下ライオンズクラブ 下妻千代川ライオンズクラブ 下妻ロータリークラブ 株式会社アシックス 株式会社茨城新聞社
日程	開会式3月21日(木・祝) 23日(土) 30日(土) (予備日31日)の延べ3日間。
会場	八千代町民公園野球場 東落田 県民運動公園野球場
出場資格	八千代町・常総市・下妻市各市町と近隣の小学校に通学する新6年生以下の学童20名以内で構成するチーム

3.大会役員

会 長	松田 浩一	
副会長	伊藤 光広 笠島 健太郎 鈴木 修	
顧 問	八千代町長	谷中 聡
	八千代町教育長	赤松 治
	常総市長	神達 岳志
	常総市教育長	岡野 克巳
	下妻市長	菊池 博
	下妻市教育長	横瀬 晴夫
	下妻ロータリークラブ	
	茨城八千代ライオンズクラブ	
	水海道ライオンズクラブ	
	石下ライオンズクラブ	
	下妻千代川ライオンズクラブ	
	茨城県議会議員	飯塚 秋男
	茨城県議会議員	飯田 智男
	茨城県議会議員	金子 晃久
	八千代町軟式野球連盟支部長	為我井 仁司
	常総市軟式野球連盟会長	山崎 仁
	下妻市軟式野球連盟会長	稲葉 啓
	実行委員長	吉村 恒雄
	副実行委員長	石塚 正明 飯村 純男
	運営委員長	青柳 庄一
	運営委員	一般社団法人下妻青年会議所会員
	審判長	菅谷 文明
	副審判長	大砂 克己 飯村 正樹

審判員

【八千代町軟式野球連盟】

高野秀夫、西村良、相沢俊一、菊憲一、砂見拓馬、坂本健次、高橋謙太、松田重美

【常総市軟式野球連盟】

青谷恵司、野崎明、木村等、小林弘、岡部竹志、塚田光明、田崎一夫、稲葉武男、忍田明、落合克敏、鈴木明彦、五木田蓮

【下妻市軟式野球連盟】

植木清、石野純哉、関武晴、天ヶ谷真吾、山田健、稲吉正樹、高石俊司、

保戸山正浩、小島智和、市川友彦、中村貢、小口宏、高橋佳孝、飯村弘樹、
飯岡俊介、稲葉勝之、山田孔明、宮本健司、早川正、杉山薫、篠寄央也、坂入京太、
田崎広大、藤田俊栄、堤大輔、熊倉一樹、亀井慎也、菌部正博

4.大会細則

1. 規則は、2018年度公式野球規則並びに全軟連取決事項及び大会特別ルールによる。
2. 使用球は、**ナガセ健康ボールJ号**とする。
3. 試合は7回とする。但し、1時間30分を過ぎたら新しいイニングには入らない。
尚、同点の場合は、タイブレイクを適用する。

※タイブレイク 継続打順とし、前回の最終打者を1塁走者、2塁走者は前の打者として無死満塁の状態にして1イニング行い、得点の多いチームを勝ちとする。さらに同点の場合は、抽選で勝敗を決定する。但し、大会初日に限り、抽選のみとする。

※抽選方法

- ①審判員および試合終了時に出場していた両チームのメンバーが、投手からポジション順に終了あいさつ状態に整列する。
 - ②抽選用紙に○印、×印各9枚記入したものを封筒に入れる。
 - ③球審が18枚の封筒を持ち、先攻チームより1枚ずつ交互に選ばせる。
 - ④二人の審判員が両チームの監督立ち合いのもとに開封し、○印の多い方を抽選勝ちとする。
4. コールドゲームは、3回以降10点、又は5回以降7点差とする。また、雨天等の適用については大会本部にて決定する。決勝戦に限り適応しないとする。
 5. ベンチは、組み合わせの若い方が1塁側とし、ベンチに入れる者は、登録選手20名以内、指導者6名以内とする。(監督・コーチ2名はユニホーム着用の事、代表者・マネージャー・スコアラーはユニフォームを着用してはならない)
 6. 出場チームは、その日の第1試合は開始予定時刻の30分前までに、第2試合以降は、前の試合の4回終了時又は試合開始予定時刻の30分前までにメンバー表(スコアラー・マネージャー含む)4通を本部に提出し、攻守を決定する。予定時間に入場しないチームは棄権とみなす。
 7. シートノックは5分間とする。(ノッカーは必ずユニホーム着用、補助員【ボールだし】は必ずヘルメットを着用すること)
 8. 投手は変化球を投げてはいけない。
 9. 打者・走者・次打者及びベースコーチは全日本軟式野球連盟(JSBB)公認のヘルメットを着用する。
 10. 捕手は(JSBB)公認のマスク・プロテクター・ヘルメット・レガース・ファールカッ

プを必ず着用する。

11. 金属バットは、(JSBB)のもののみ使用する。
12. メガホンの使用は、監督に1つのみ認める。
13. ベンチ内の携帯電話、応援時の鳴り物等の使用を禁止する。
14. 抗議できる者は、監督と当該選手に限る。
15. 試合前後のグラウンド整備は、必ず両チームが行う。(第1試合前は除く)
16. 雨天の場合、次の予定日に順延する。但し、日程の都合で、期日・会場・時間を変更する場合がある。
17. 審判員や相手チームに対し、暴行及び侮辱した場合は退場もしくは没収試合とする。
18. 大会第1日目の受付時まで、登録選手の変更を認める。
19. ベンチ入りした大人は、試合中禁煙とし、トイレ以外はベンチから離れることを禁止する。
20. ブロック代表戦(準決勝戦)において棄権が生じた場合、大会本部で協議し適正と認めた場合において、ブロック代表戦に限り相手方チームに交渉権を与える事ができる。
21. 連合チームの出場を認める。

